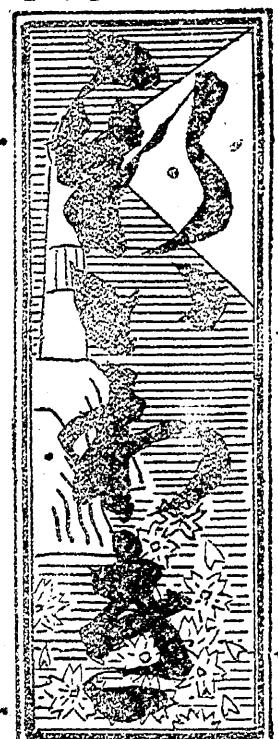


日八十二月十刊夕



利潤が少いので

郡内農家の買上米應募は

結局二千俵内外か

政府の買上米に對し郡農會では不況のどん底にあつて後に開會、過般の水害によれば困憊せる一般農家は先のと觀て種々斡旋に努めてゐるが廿七日までに植田町から

四九七俵

錦村から

五百俵の應募のみで

いさゝか拍子抜けの感を喫しこの分では來月三日の申込締切までには昨年同様二千俵内外の應募に過ぎまいと云はれてゐるが今回の買上に對し

査を行つた

議員一同は水害地の實地調査を行つた

高月臺に躍る

若き健兒

競技大會迫る

第一區より第四區までの参

加校三十校に達する見込で

競技種目も昨日漸く決定し

主家の酒を溢み

酌婦へ入れ揚ぐ

祝辭を述べ來賓側

主を捧げて廿七日午後七時

に放火して住家二棟非住家

に二棟を全焼せしめた神谷村

(三)は精神病者として平署で留置保護を加へてゐたが

出来たので實兄が身柄を引取つた

▲放火狂人お歸り自宅

ヨク／＼裏口から出かける

と云ふ奴なんだ、其の他泥棒でも賭博でも何んでも彼

は一人もない事實が何物よ

りも證明してゐるだから改

心は寧ろ回心と云ふのが當

てはまつてゐると思へば後悔する様なことはない

の足一本の手が動く如く思

つて貰ふにも一錢銅貨幾枚

か握らせなければなか

く心志が發動せぬのに、こん

な元氣で自分の順番を待つて居る。命令は電氣の如く迅速に傳へられ機械の如く正確に行はれる。行動は

庭一杯に整列してピアノの得ない。

情の機關車が何事か異常を告ぐる如き緩急汽笛を鳴したので素破火學よと許り氣が否は石炭をたきすぎて蒸氣過剰に陥つた一機關車が

早速逆走戻り戻した

汽笛のための仕業と判つた

午前七時警鐘一点打を以て

稻の
收穫

平穀檢 本名瀬所長

之れに反して乾燥不充分なる穀は米と成すに當り調製頗る困難にして且つ其の結果も不良に終るものである、故に乾燥の良否は米としての色澤にも乾燥にも調製にも影響するものであるが故に刈稻の乾燥には充分の努力を拂ふ必要がある。故に形式同様の架掛け干では充分の穀の乾燥にはならない少なくも日數三週間の千さなければ良好なる乾燥にはならない著しくある千さなれば良好なる乾燥を干すことが出来ない場合は止むを得ず稻扱を下さる事常の爲めに其の千さなる而して此の稲干法もまた方法が多様であるが穀を二日位にして良く干せるけれども場合によりては又この方法が誤ると米粒に繊維(ヒダ)が生じ剥ち胸割米となることがある故に注意を要する方法である、穀のむしろ干は一般的に産米改良上餘り感ふすべき良方法とは謂ひ難いけれども本乾そなるもみを種た場合その鐵で米に摺り不良米を作るよりはまさるだけに過ぎない

新 わ い 票投氣人

御宴會は和洋小室にて

季通應節の調理

季通應節の調理

新鮮な材料とおしまね原料

汽車の御待合

汽車の御待合